

事故の発生状況 H27 年 8 月末現在

シルバー事業	6～8 月 発生分	年度累計	前年同期 発生分
傷害事故	4	5	2
賠償事故	1	1	6
計	5	6	8

最近の夏は世界的に異常気象となっています。我々シルバー世代が子供の頃は、もっと余裕のある暑さだったと思います。熱中症という言葉も知らないくらい、子供はよく遊び、大人は田畑で働く人を多く見たものです。熱中症は現代病かも知れませんが、暑さに負けない体づくり、睡眠を十分取って正しい食生活、作業時の水分補給・こまめな休憩等が必要かと思えます。

事故報告（6月～8月までの事故発生状況）

（傷害事故 4 件発生）

- ①井水の溝さらえ作業中、竹が水路に覆いかぶさっていた為、鎌で切ったところ誤って手に当たり切傷した。本人の不注意を指摘し、今後はさらに注意して作業するよう指示した。
- ②工場の垣根をエンジン付きトリマーにて剪定中、誤って右膝に触れ裂傷した。回転工具使用の場合は取扱いに十分気を付けるように、本人・同作業者に注意喚起した。
- ③工場内廊下のモップがけ作業中、誤って転倒し手首を打撲した。作業周辺の状況をよく確認し作業するよう指示した。
- ④不燃ごみ選別作業中、選別コンベアに空けるコンテナボックス開閉時に手指を挟み負傷した。安全確認後 決められた作業以外は、自分の判断でしないよう注意喚起した。



（賠償事故 1 件発生）

- ⑤除草剤散布作業を行った後、隣接する水田耕作者から一部の苗が枯れているとの通報があった。作業には除草剤散布をするときは天候、特に風の状況を確認し作業にあたるよう注意喚起した。

『どうしても言いたい！』安全適正委員長から一言！



こうも事故が続くと正直気が滅入ってしまいますね。「気を付けて」と言ってもどこ吹く風。自分のやり方があるようで、同僚とか仲間たちがいくら注意しても年取ると周囲に耳を貸さなくなるのでしょうか。怪我すれば本人だけじゃなく家族もガクツとなるでしょう。

ここで強調しておきたいのは、年取って怪我したら元に戻らないということ。いくらシルバー保険があるからと言っても少なくとも傷跡は残るでしょうし、障害さえ残るかも。さらに、作業現場では戦力ダウンして同僚や仲間たちが大変迷惑します。

安全適正委員会では、怪我しない方法とかやり方をアドバイスするしかないのです。年取ったら若い時のようにはいきません。体の動きはもとより、頭の回転も昔のようにいかないということを十分ご承知置きください。

安全就業研修会 開催報告

安全就業研修会を去る 8 月 29 日（土）北勢福祉センター大会議室に於いて、公共関係就労会員 60 名出席のもと開催しました。いなべ市地域包括支援センター長 佐藤美樹氏から「高齢者の暮らし方、健康管理について」をテーマに、日常生活での気を付けなければならないこと、自分の体の健康管理の方法等について講演いただきました。